

週間漁海況情報—第4号

平成24年1月30日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H24.1.30)を示した。

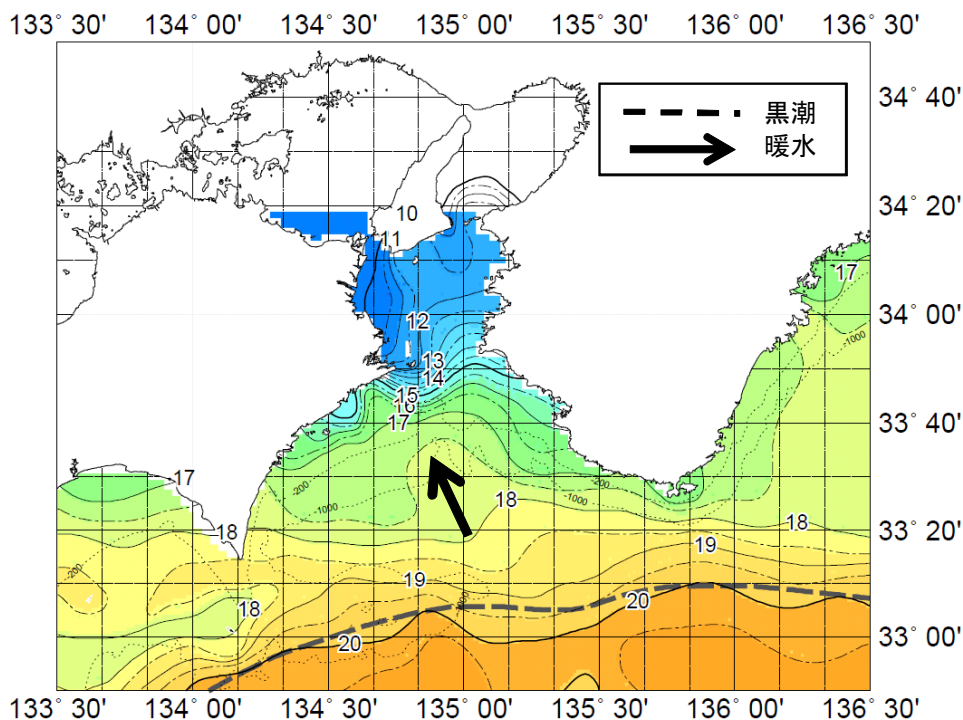
黒潮は、室戸岬および潮岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10℃台、紀伊水道で10～14℃台、海部沿岸で14～17℃台である。

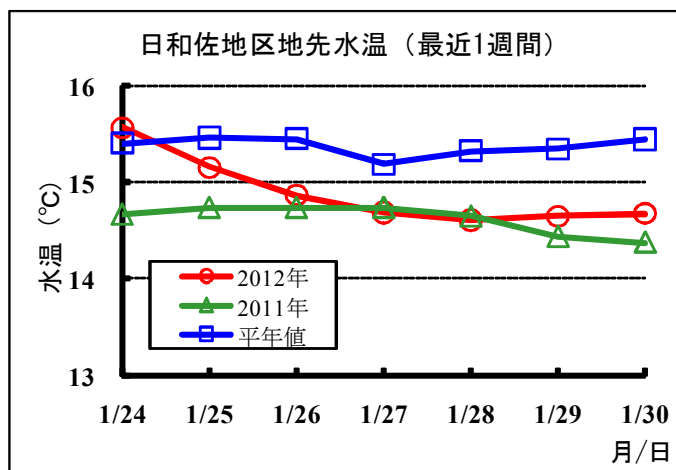
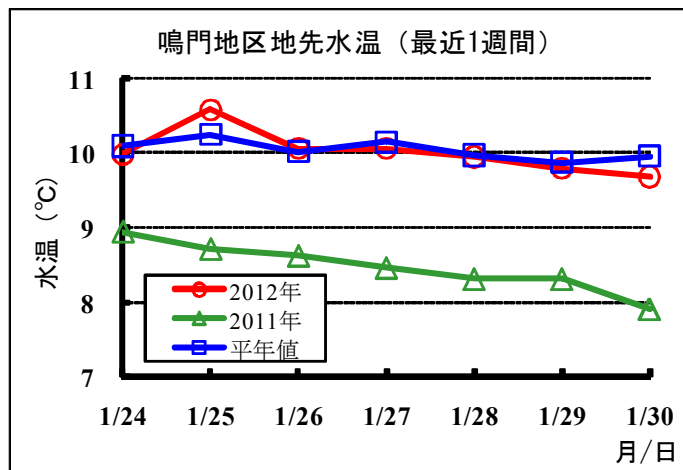
紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から概ね北西方向に向け緩やかな暖水流入がある。

紀伊水道外域の徳島県側沿岸では内海系水の南下がみられ、海部沿岸上灘まで15℃以下の内海系水に覆われている。

内海系水と黒潮系暖水との明瞭な潮境が、伊島南方から日ノ御埼にかけて確認できる。



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」の9.7～10.6℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.6～15.6℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の14.2～16.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にサバフグが0.4トン（1日1隻当たり16kg）、大主体にアマダイが0.3トン（同13kg）、カワハギが0.3トン（同44kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.8トン（同9kg）、カタクチイワシが1.3トン（同32kg）、マルソウダが0.5トン（同18kg）、中・小主体にメジナが0.4トン（同22kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で小主体にシイラが1.5トン（同513kg）、マルソウダが0.2トン（同68kg）、中主体にマルアジが1.1トン（同369kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大主体にアオリイカが0.9トン（同11kg）、中・大主体にマサバが0.6トン（同15kg）、大主体にゴマサバが2.5トン（同59kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 1月23日～1月29日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	サバフグ	26	405	16	大主体
		アマダイ	26	330	13	大主体
		カワハギ	6	263	44	
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	85	763	9	
		カタクチイワシ	42	1,331	32	
		マルソウダ	28	492	18	
		メジナ	20	441	22	中・小主体
大型定置網	海部沿岸	シイラ	3	1,540	513	小主体
		マルソウダ	3	204	68	
		マルアジ	3	1,108	369	中主体
釣り	海部沿岸	アオリイカ	79	863	11	大主体
		マサバ	41	620	15	中・大主体
		ゴマサバ	42	2,492	59	大主体

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年1月24～30日の海部沿岸では、延縄でカワハギが0.4トン、サバフグが0.2トン、建網で中主体にヒラメが0.4トン、小型定置網でアオリイカが1.3トン、キビナゴが0.3トン、マアジが0.3トン、マルアジが0.4トン、大型定置網でスルメイカが0.5トン、マアジが0.2トン、釣りでアオリイカが0.7トン、紀伊水道では、釣りでサワラが0.2トン水揚げされていた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖及び潮岬沖で「やや離岸」で推移する見込み。海部沿岸上灘では、内海系水に覆われる見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」～「平年並み」の8℃～9℃台、日和佐地先は「やや低め」～「平年並み」の14～15℃台で推移する見込み。